

保 健 体 育

第1節 概 要

「第3次福島県長期総合教育計画」及びこの計画の「第1期実施計画」に基づき、保健体育課においては、体育・保健安全・給食の各分野の相互連携を図りながら昭和60年度福島県教育委員会重点施策の一つである「健康で活力ある生活をめざす保健体育・スポーツの推進」を柱として各施策の推進を図った。

さらに、昭和70年に本県で開催される第50回国民体育大会の開催準備を円滑に推進するため、第50回国民体育大会福島県準備委員会を設立し開催方針等を策定し、本格的な準備に着手した。

1 学校体育の充実

学校体育担当教員の資質向上のため、格技(柔道・剣道)段位認定講習会をはじめ、各種体育実技指導者講習会を開催した。特に、教職員を対象とする講習会には民間の優れた指導者を派遣するとともに、児童・生徒を対象とする指導協力事業には豊富な経験を持つ民間指導者を学校に派遣して、児童・生徒の運動技能の向上及び教職員の指導力の向上を図った。

また、県教委指定の集団安全行動推進校(小・中各1校)の3年間の研究推進をはじめ、文部省指定の「体力づくり推進校」「格技指導推進校」県教委指定「体力づくり研究推進校」の実践研究及び公開発表を契機として、その成果を地域の学校に普及させるとともに、県下児童・生徒の体力・運動能力の実態を把握するためのスポーツテストを実施し、その分析結果を十分に活用し、各学校の実態に応じた体力づくりの推進を図った。

さらに、小学校運動競技奨励事業を拡充し、陸上及び水泳の基礎的な運動能力の向上を図った。

2 学校保健の充実

学校における保健教育・保健管理の充実を図るために学校保健関係教員を対象として、保健主事・養護教員講習会(県内2地区)、保健教育・安全教育指導者研修会(県内2地区)、新採用養護教諭研修会(県教育センター)、養護教員経験者研修会(県教育センター)、中堅養護教諭研修会(県教育センター)等を開催し、資質の向上に努めた。

また、教職員、児童・生徒の疾病・異常者の早期発見に努めるとともに学校保健委員会活動の活発化を図り、学校保健の充実にも努めた。

更に、児童のむし歯予防の実践的研究を推進するため昭和60～62年度の3年間、いわき市立四倉小学校を文部省の研究指定校として依頼し、児童のむし歯予防の推進に努めた。

3 学校安全の徹底

学校における安全教育・安全管理の強化を図るため、保健

教育・安全教育指導者研修会(前掲)、交通安全教育指導者研修会(県内3地区)等を開催し、資質の向上に努めた。

また、小・中学校を対象に「安全に関する図画・作文・習字・交通安全ポスター」の募集を行い、「国民安全の日」制定の趣旨の普及徹底を図った。

4 学校給食の改善充実

本年度の学校給食の実施状況を児童生徒数で見ると、完全給食は小学校0.2%、中学校0.6%上昇し、小学校で97.6%、中学校では76.5%の実施率となった。米飯給食は小・中学校ともに実施率は100%である。米飯の回数は週当たり平均2.3回となっており全国平均を上回っている。

また、学校給食費は小学校201円52銭、中学校236円09銭となっており、全国平均をかなり上回った値を示している。前年度と比較した上昇率は、小学校1.6%、中学校2.2%となっている。

学校給食の適正な運営改善充実及び給食関係職員の資質向上を図るため、各種の研修会等を開催し所期の目的達成に努めた。また、県教委指定の学校給食改善研究校(場)2か所を設け、給食の改善、充実にも努めた。更に食中毒や労働災害等の事故防止を図るため、文書、研修会等により衛生思想の啓蒙、安全管理の指導に努めた。また、地域の特性に根ざした学校給食を実現するため学校、家庭との連携推進事業の強化を図った。

5 県研究大会の開催

第9回福島県学校体育、保健、安全、給食研究大会・第20回東北学校保健大会を原町市体育館を主会場として3日間の日程で東北各県をはじめ、県内関係者約550名の参加を得て開催した。

大会主題「健康で活力に満ちた生活をめざして」に基づき、幼児・児童・生徒の健康増進と体力の向上を図るため、学校体育、保健、安全及び学校給食の諸問題について研究協議し、多くの成果を取めた。

6 社会体育の振興

県民の質量ともに多様化しつつあるスポーツ活動への欲求に対応するため、野外活動並びにスポーツ活動指導者等を対象とした各種講習会、研修会を開催し、指導者の養成と資質の向上に努めたほか、小学生スポーツ教室、スポーツ功労者等派遣事業(テニス教室)を実施し、小・中・高校生のスポーツ活動の推進に努めた。

特に本年度は、開設2年目を迎えた婦人スポーツ指導者講習会の内容の充実を図り、4地区において開催し、地域における婦人のスポーツ活動の推進に努めた。

また、県総合体育大会、社会人(職場)スポーツ大会をはじめ、各種競技会を開催し、県民スポーツの振興を図るとともに、国民体育大会及び東北総合体育大会に選手団を派遣し競技力の向上と志気の高揚に努めた。